



株式会社 キムラタン

第61回定時株主総会

2024年6月27日

2024年3月期 事業の経過及び成果

2024年3月期の業績ハイライト

事業ポートフォリオ転換が成果につながり9期ぶりとなる最終利益計上を実現

ポートフォリオ の転換

- アパレル事業を大幅に縮小し多額の赤字要因を排除
- 不動産事業の拡大による安定的な収益基盤の確保

売上高

35億47百万円 ▶ 12億84百万円 ▲63.8%

親会社株主に帰属する 当期純利益

▲11億34百万円 ▶ 40百万円 +11億75百万円

連結経営成績 売上高

前期に実施したアパレル事業縮小、子会社株式売却等により63.8%の減収

	2023年3月期		2024年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	3,547	100.0%	1,284	100.0%	△2,263	△63.8%
売上総利益	1,113	31.4%	548	42.7%	△565	△50.8%
販管費	1,838	51.8%	511	39.8%	△1,326	△72.2%
営業利益	△724	△20.4%	37	2.9%	+761	-

連結経営成績 売上総利益

アパレル事業の在庫処分が一巡し前期比11.3ポイント改善

	2023年3月期		2024年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	3,547	100.0%	1,284	100.0%	△2,263	△63.8%
売上総利益	1,113	31.4%	548	42.7%	△565	△50.8%
販管費	1,838	51.8%	511	39.8%	△1,326	△72.2%
営業利益	△724	△20.4%	37	2.9%	+761	-

連結経営成績 販売費・一般管理費

事業縮小・事業撤退による減少等により72.2%減

	2023年3月期		2024年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	3,547	100.0%	1,284	100.0%	△2,263	△63.8%
売上総利益	1,113	31.4%	548	42.7%	△565	△50.8%
販管費	1,838	51.8%	511	39.8%	△1,326	△72.2%
営業利益	△724	△20.4%	37	2.9%	+761	-

連結経営成績 営業損益

事業ポートフォリオ転換の成果により利益計上・赤字体質からの脱却を達成

	2023年3月期		2024年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	3,547	100.0%	1,284	100.0%	△2,263	△63.8%
売上総利益	1,113	31.4%	548	42.7%	△565	△50.8%
販管費	1,838	51.8%	511	39.8%	△1,326	△72.2%
営業利益	△724	△20.4%	37	2.9%	+761	-

連結経営成績 営業外損益・特別損益

一過性費用負担により経常損失となるが最終利益計上を達成

	2023年3月期	2024年3月期	増減額	増減要因等
営業利益	△724	37	+761	
営業外収益	37	50	+13	
営業外費用	350	106	△243	
経常利益	△1,037	△19	+1,018	一過性費用により損失計上
特別利益	—	83	+83	負ののれん発生益等
特別損失	103	18	△85	前期特損が解消
法人税等	△5	5	+10	—
当期純利益	△1,134	40	+1,175	

セグメント別の概況 / アパレル事業

在庫処分一巡による粗利改善と経費減により530百万円の赤字縮小

売上高	前期に208店舗を閉鎖 既存店 +9.0% ネット通販 △39.1%	▶	3億79百万円 △85.6%
粗利益	在庫処分が一巡 値引き販売正常化	▶	粗利益率 +15.4ポイント
セグメント利益	粗利改善と 固定費削減	▶	対前期 +530百万円

セグメント別の概況 / 不動産事業

目標稼働率の達成とコスト低減を実現。新たなM&Aによる収益力強化

売上高

稼働率の向上を図る
1月に新規M&Aを実行

8億76百万円 +77百万円

コスト低減

管理業務の一部内製化
顧客・物件状況の把握

既存物件 Δ 2.8% Δ 8百万円

セグメント利益

本社費配賦増あるが、
収益増・コスト減効果

1億59百万円 +39百万円

セグメント別の概況 / その他事業

保育園の事業譲渡により減収もウェアラブル導入施設倍増により黒字転換

導入園増

安心・安全意識高まり
おひるねバンド好調

導入数 **50**施設→**100**施設

売上高

保育園事業 Δ 98百万円
ウェアラブルが伸長

ウェアラブル前期比 **189.5%**

セグメント利益

保育園事業の赤字解消
ウェアラブル採算向上

前期比 **+58**百万円

2024年3月期の総括

長きにわたる赤字体質から脱却。企業価値の回復・向上を目指す

M&A等の成長戦略を構築

黒字転換を実現～企業価値の回復・向上へ

事業ポートフォリオの転換

アパレル

規模縮小と粗利改善により
赤字幅を縮小

不動産

安定利益確保により
全社構造改革に貢献

連結財政状態

新規M&Aにより総資産増加するが期末自己資本比率は+9.0ポイント

総資産

83億4百万円

前期末比 +6億74百万円

新規M&Aによる5億36百万円
現金・預金、有形固定資産増

負債

73億82百万円

前期末比 △78百万円

流動負債 △1億17百万円
固定負債 +39百万円

純資産

9億21百万円

前期末比 +7億52百万円

第三者割当増資・新株予約権行使
親会社株主に帰属する当期純利益
自己資本比率 2.0%→11.0%

事業報告、連結計算書類等

事業報告

設備投資の状況～会計監査人の状況

7～13ページ

連結計算書類

14～17ページ

計算書類

18～21ページ

2025年3月期 事業計画の概要

不動産事業の方針

収益力のさらなる向上と成長に向けた投資の検討を積極推進

新規収益増

- 既存物件は安定稼働を見込む
- キムラタンプロパティの収益純増

コスト低減

- 物件状況をさらに詳細に把握
- 管理業務内製化の対象物件拡大

成長戦略

- M&A含む不動産投資を積極的に推進
- 不動産関連の事業領域の拡大も検討

アパレル事業の方針

ブランド力の向上・独自価値の提供を重視し事業の再構築を図る

価値創造

独自価値の創造をさらに追及

強みのあるブランド
を強化

差別化

価格競争からの脱却と差別化

値引販売をさらに抑制
粗利益率の改善

コスト減

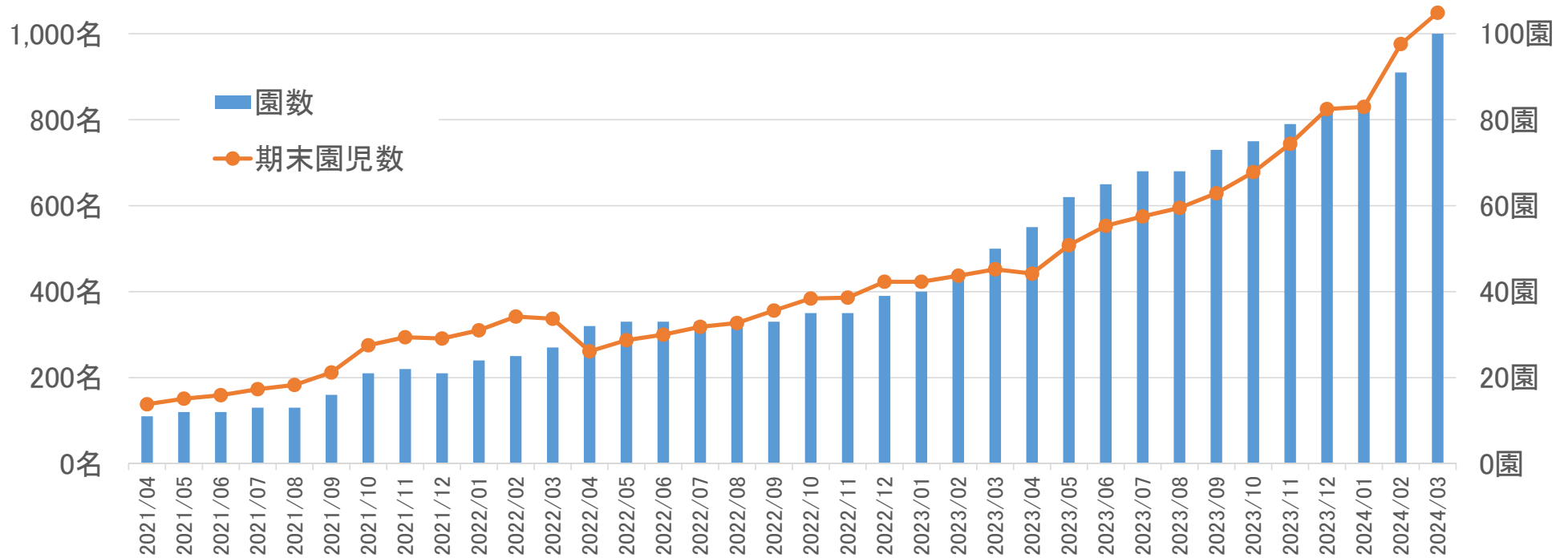
合理化・効率化をさらに推進

固定費をさらに削減
収益構造改善へ

ウェアラブル事業の方針

インフラ整備に取り組み導入施設をさらに拡大。保育の質の向上に貢献

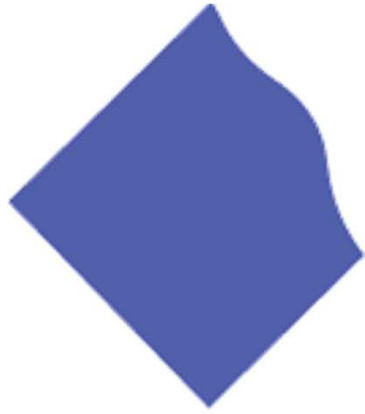
ココリン導入施設、利用園児数の推移



2025年3月期通期業績予想

増収・増益を目指し全社で邁進

	2024年3月期		2025年3月期		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,284	100.0%	1,400	100.0%	+115	+9.0%
営業利益	37	2.9%	175	12.5%	+137	+369.9%
経常利益	△19	△1.5%	115	8.2%	+134	-
当期純利益	40	3.2%	90	6.4%	+49	+121.0%



KIMURATAN